医師臨床研修プログラム

2026 年度

東京医科大学病院
TOKYO MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

＜目次＞

1　プログラムの名称と研修医の募集定員 3

2　研修プログラムの特色 3

3　臨床研修の目標 4

4　プログラム責任者の氏名 4

5　臨床研修を行う分野ごとの研修期間（ローテーションイメージ）と分野ごとの診療科 5

6　研修医の指導体制 7

7　募集及び採用の方法 7

8　研修医の処遇に関する事項 7

（ｉ）常勤又は非常勤の別 7

（ii）研修手当、勤務時間及び休暇に関する事項 7

（iii）時間外勤務及び当直に関する事項 8

（iv）研修医のための宿舎及び病院内の個室の有無 8

（ｖ）社会保険・労働保険（公的医療保険、公的年金保険、労働者災害補償保険、
雇用保険）に関する事項 8

（vi）健康管理に関する事項 8

（vii）医師賠償責任保険に関する事項 8

（viii）外部の研修活動に関する事項（学会、研究会等への参加の可否及び費用負担の有無）... 8

（ix）研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 8

（ｘ）アルバイトに関する事項 8

（xi）臨床研修の中断について 8

参考　2027 年度採用　東京医科大学病院　臨床研修医募集要項 9

別表　東京医科大学病院の協力型臨床研修病院・臨床研修協力施設（一覧）.....11

別冊　各診療科の研修プログラム

1　プログラムの名称と研修医の募集定員

プログラム名称	定員数	備考
東京医科大学病院卒後臨床研修プログラム（一般プログラム）	30 名	
東京医科大学病院卒後臨床研修(小児科・産婦人科・周産期)プログラム	4 名	
東京医科大学病院卒後臨床研修広域連携型プログラム	3 名	

2　研修プログラムの特色

プログラム名称	特　色
東京医科大学病院 卒後臨床研修プログラム （一般プログラム）	内科（24 週）、救急(12 週)、小児科(4 週)、産科婦人科(4 週)、精神科(4 週)、外科(4 週)、地域医療(4 週)の研修が必修プログラムです。必修以外の選択枠については、全ての診療科から選択できるなど、選択の幅が広く設定されています。各科での研修はもちろんのこと、全体プログラムによる教育体制が整備されています。
東京医科大学病院 卒後臨床研修(小児科・産婦人科・周産期)プログラム	将来、小児科ないし産婦人科を目指すためのプログラムです。 小児科医を目指すものは、最初の 1 年間で一般小児科と新生児集中治療部および内科での研修を行います。新生児から思春期、青年期までの総合診療を研修しますが、その間に扱う疾患には、感染症や呼吸器疾患、消化器疾患など内科に共通する疾患も多くあります。小児の総合診療に内科、外科、救命救急、産婦人科、精神科などを研修することによって、効率よく診療技能が習得できます。 産婦人科医を目指すものは、医師としての総合的な診療能力獲得に加え、産婦人科医としての基本的な考え方、臨床能力を身につけることを目標とします。周産期、生殖内分泌、腫瘍 3 分野をそれぞれ研修し、麻酔科では緊急帝王切開に必要な脊椎麻酔や無痛分娩に必要な硬膜外麻酔を含めた麻酔科管理を、救命救急センターでは産科救急事態に対応できる全身管理の習得できます。
東京医科大学病院 卒後臨床研修広域連携型プログラム	臨床研修 2 年目の通算 24 週（又はそれ以上の期間）、連携先病院で研修を行うプログラムです。医師少数区域において一定期間、当院とは異なる環境に身を置き、地域の医療に従事し、そこでしか得ることのできない経験を積む過程のなかで、新たな人脈形成や、将来のキャリアの選択肢、自分の特性について検討を行うことができます。当院と連携先病院での研修を通じ、内科（24 週）、救急(12 週)、小児科(4 週)、産科婦人科(4 週)、精神科(4 週)、外科(4 週)、地域医療(4 週)の研修を必修とし、必修以外の全ての期間については、選択期間とします。必修以外の選択期間は当院の全ての診療科から選択することが出来、選択の幅は広く設定されています。

3　臨床研修の目標

プログラム名称	目標
東京医科大学病院 卒後臨床研修プログラム （一般プログラム） 東京医科大学病院 卒後臨床研修広域連携プログラム	・全ての臨床医に求められる医師としての基本的な臨床能力(知識・技能・態度)を習得する。具体的目標：基本的診察法、基本的検査法、基本的治療法、基本的手技、救急処置法を身につけ診療計画を立て、その結果について評価ができる。 ・予防医療、包括的医療、緩和・終末期医療を理解し、実践ができる。 ・患者・家族との良好な人間関係を形成し、医療の社会的側面に対応でき、他の医療スタッフと協調協力して任にあたることができる。 ・適切に文書を作成し、その管理ができる。
東京医科大学病院 卒後臨床研修(小児科・産婦人科・周産期)プログラム	・医師としての基本的な臨床能力を習得する。具体的目標として、新生児から成人までの大部分の疾患について、年齢依存的な特徴を理解し、初診で必要な基本的な診察、検査、診断、治療、手技、救急処置法などを習得し、その後の診療計画を立て、その結果を評価できる。 ・家族の不安、特に小児の場合の母親の不安を理解し、家族の支援について理解することができる。

4　プログラム責任者の氏名

プログラム名称	プログラム責任者の氏名
東京医科大学病院 卒後臨床研修プログラム （一般プログラム） 東京医科大学病院 卒後臨床研修広域連携型プログラム	プログラム責任者 原田　芳巳（総合診療科／医学・看護学教育推進センター准教授） 副プログラム責任者 天野　景裕（臨床検査医学科　教授） 土屋　貴愛（消化器内科　准教授） 矢﨑　義直（循環器内科　准教授） 笠原　健大（消化器外科・小児外科　講師） 赤松　信子（小児科・思春期科　助教） 永井　太朗（整形外科　助教）
東京医科大学病院 卒後臨床研修(小児科・産婦人科・周産期)プログラム	山中　岳　（小児科・思春期科　主任教授）

5　臨床研修を行う分野ごとの研修期間（ローテーションイメージ）と分野ごとの診療科

・ローテーションは研修医本人の希望を尊重し、卒後臨床研修センターと相談の上、決定します。

・1 年次の 4～5 月は、主に内科系（小児科・産婦人科・周産期プログラムは小児科）を研修医本人の希望をもとに割り当てます。6～2 月は入職時オリエンテーションでのローテーションの説明後、希望調査を行い、各診療科の定員を勘案しながら決定します。1 年次 3 月から 2 年次 2 月は、1 年次 12 月頃に希望調査を行い、修了要件達成状況と本人の意向を確認した上で、各診療科の定員を勘案しながら決定します。

1）一般プログラム

1 年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
24週						12週			4週	4週	4週	4週	4週	（48週）									
内科（必修）						救急（必修）			外科（必修）	小児（必修）	産科婦人科（必修）	地域（必修）	精神（必修）	選択									
内科					一般外来総診	麻酔	救命		外科	小児	産科	地域	精神	選択									

・1 年次 4 月の研修先は選択枠とし、内科・外科枠(一部の科を除く)または総合診療科から選択し、5 月研修先についても同一診療科とします。

・救急部門枠は、救命救急センター8 週と麻酔科 4 週とします。

・一般外来研修は、総合診療科と地域医療研修にて実施とします。

2）小児科・産婦人科・周産期プログラム

1 年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
16週				4週	24週						12週			4週	4週	4週	（36週）						
小児or産科・婦人科（必修）				小児（必修）	内科（必修）						救急（必修）			外科（必修）	地域（必修）	精神（必修）	選択						
小児or産科・婦人科				NICU	内科					一般外来総診	麻酔	救命		外科	地域	精神	選択						

・1 年次 4 月の研修先は選択枠とし、小児科とします。5 月研修先についても同一診療科とします。

・小児科、産婦人科は、それぞれ少なくとも 4 週を含む計 16 週研修します。NICU を 4 週研修とします。

・救急部門枠は、救命救急センター8 週と麻酔科 4 週とします。

・一般外来研修は、総合診療科と地域医療研修にて実施とします。

3）広域連携型プログラム

1 年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
24週						12週			4週	4週	4週	4週	4週	24週						（24週）			
内科（必修）						救急（必修）			外科（必修）	小児（必修）	産科婦人科（必修）	地域（必修）	精神（必修）	広域連携プログラム 特定期間						選択			
内科					一般外来総診	麻酔	救命		外科	小児	産科	地域	精神	選択						選択			

・1 年次 4 月の研修先は選択枠とし、内科・外科枠(一部の科を除く)または総合診療科から選択し、5 月研修先についても同一診療科とします。

・救急部門枠は、救命救急センター8 週と麻酔科 4 週とします。

・一般外来研修は、総合診療科と地域医療研修にて実施とします。

・広域連携型プログラム特定期間は、24 週連続となります（期間の分割は不可）研修医本人の希望と、提携先医療機関の受入れ状況から調整の上、決定します。

内科枠は、下記診療科から選択する
総合診療科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、CCU、脳神経内科、消化器内科、腎臓内科、高齢診療科、臨床検査医学科、感染症科

外科枠は、下記診療科から選択する
呼吸器外科・甲状腺外科、消化器外科・小児外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、乳腺科、心臓血管外科、整形外科、形成外科

小児科枠は下記施設から選択する
東京医科大学病院、厚生中央病院

産婦人科枠は下記施設から選択する
東京医科大学病院、厚生中央病院、戸田中央産院

地域医療枠は、下記医療機関から選択する（※のついた医療機関は、研修を希望する診療科を選ぶことができる）
大島医療センター、藤田医院、クリニックあおと、永田医院、牛込台さこむら内科、岡田医院 たむらクリニック、木村クリニック、目黒ゆうあいクリニック、井上外科内科、河北ﾌｧﾐﾘｰｸﾘﾆｯｸ南阿佐ケ谷、 中野共立病院*、小原病院、みやびハート＆ケアクリニック 千代田病院（宮崎県）、かしま病院（福島県）、倶知安厚生病院（北海道）、川湯の森病院（北海道）、 丸瀬布ひらやま医院（北海道）、広域紋別病院（北海道）、富良野協会病院（北海道）、 村上総合病院*（新潟県）

精神科枠は下記施設から選択する
東京医科大学病院、柏崎厚生病院（新潟）

選択科目枠は、当院の下記診療科及び、下記の院外医療機関から選択する（※のついた医療機関は、研修を希望する診療科を選ぶことができる）	
東京医科大学病院	総合診療科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、 リウマチ・膠原病内科、脳神経内科、消化器内科、腎臓内科、高齢診療科、 臨床検査医学科、メンタルヘルス科、小児科・思春期科、NICU、呼吸器外科・甲状腺外科、 心臓血管外科、消化器外科・小児外科、乳腺科、眼科、脳神経外科、 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、整形外科、形成外科、麻酔科、皮膚科、産科・婦人科、 泌尿器科、放射線診断、放射線治療、リハビリテーション科、救命救急科、病理診断科 ICU、内視鏡センター(2 年次)、感染症科、CCU、緩和ケア科
院外医療機関	東京医科大学茨城医療センター*、東京医科大学八王子医療センター*、 立川綜合病院*(新潟)、総合病院厚生中央病院*、東京蒲田医療センター*、

	筑波記念病院*(茨城)、村上総合病院*(新潟)、新宿区保健所、戸田中央産院[産科]、 東京北医療センター[総合診療科]、悠遊健康村病院(新潟)、柏崎厚生病院(新潟)、 他　地域医療研修先も選択可能

※小児科・産婦人科・周産期プログラムにおいてのみ、選択科目として、国立成育医療研究センター[小児科]を選択することが可能です。

広域連携型プログラム特定期間においては、下記の院外医療機関からひとつを選択する	
東京医科大学茨城医療センター	総合診療科、消化器内科、腎臓内科、循環器内科、代謝内分泌内科、脳神経内科、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、泌尿器科、整形外科、乳腺科、救命救急センター、麻酔科、ICU、皮膚科、眼科、放射線科、病理部 ※内科及び外科必修も研修可能。診療科は希望調査を行った上、調整の上、決定します。
広域紋別病院(北海道)	内科（必修）、外科（必修）、地域医療
かしま病院(福島)	内科（必修）、地域医療

※各プログラムに共通の留意事項

・各診療科への研修医のローテーション時期については、各科の受け入れ人数等を考慮して、卒後臨床研修センターが調整します。

・組み立てたローテーションでは到達目標が達成できないと、卒後臨床研修センターが判断した場合は、研修先を変更するよう指導する場合があります。

６研修医の指導体制

・プログラム責任者は、臨床研修病院の臨床研修関連実務を統括し、研修プログラムの企画・立案及び実施の管理並びに研修医に対する助言、指導その他の援助を行う。常勤医師でありかつ、指導医及び研修医に対する指導を行うために必要な経験及び能力を有しており、プログラム責任者講習会を受講した者のなかから、病院長が任命する。

・指導医は、当院の常勤の医師であって、原則７年以上の臨床経験を有し、プライマリ・ケアの指導方法に関する講習会（指導医講習会、当院においては「指導医のための教育ワークショップ」を定期開催している）を受講しており、研修医に対する指導を行うために必要な経験及び能力を有する者のなかから、病院長が任命する。

・指導者は、看護師、薬剤師、臨床検査技師等、研修医の指導に関係する医師以外の医療職種の全てとする。

７募集及び採用の方法

参考募集要項のとおり

８研修医の処遇に関する事項

（ｉ）常勤又は非常勤の別：常勤（臨床研修医）

（ii）研修手当、勤務時間及び休暇に関する事項

給与：月額約24万円（時間外手当含む）所定労働時間以上の労働は、時間外手当を支給
広域連携型プログラムの特定期間中、院外医療機関で臨床研修を行う場合、研修先の待遇を適用

（茨城医療センター：月額30万円（基本給19万円+奨励金11万円）
かしま病院：月額41万4千円（予定）
広域紋別病院：月額70万円（予定）（※金額はいずれも総支給額））

勤務時間：平日9:00～17:00（休憩1時間）第1・3・5土曜日9:00～13:00

休日：日曜日、第2・4土曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

病院が指定する国民の祝日に出勤した場合の振替休日

大学創立記念日（4月13日）を含む週の土曜日に出勤した場合の振替休日

休暇：年次有給休暇（1年次10日、2年次12日）、夏期休暇5日、その他本学規程に準ずる

（iii）時間外勤務及び当直に関する事項：月3回程度夜勤入り明けは勤務免除

（iv）研修医のための宿舎及び病院内の個室の有無：宿舎あり、病院内の個室なし

東京医科大学病院：（月額3万3千5百円より
茨城医療センター：調整中
かしま病院：月額3万円+光熱水費～
広域紋別病院：月額1万円+光熱水費（※金額はいずれも予定））

（v）社会保険・労働保険（公的医療保険、公的年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険）に関する事項：加入あり（広域連携プログラムの特定期間中、院外医療機関で臨床研修を行う場合、研修先の待遇を適用)

（vi）健康管理に関する事項：年2回

（vii）医師賠償責任保険に関する事項：加入あり

（viii）外部の研修活動に関する事項（学会、研究会等への参加の可否及び費用負担の有無）
交通費・旅費・参加費等の諸経費の補助は行わない。参加を勧めた診療科ないし研修医個人の負担とする。依頼先が院外研修施設である場合、参加は原則禁止。

（ix）研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項

ダイバーシティ推進センター（キャリア形成・ファミリーサポート部門）がライフイベントや研究活動、属性に関する様々な悩みに合わせて、相談を受け付けている。
就労形態の相談（就労とライフイベントの両立支援）、保育園・ファミリーサポート、その他

（x）アルバイトに関する事項

医師法、関係省令、当院就業規則により、臨床研修医はアルバイト診療をしてはならない。

（xi）研修医が臨床研修を継続することが困難であると研修管理委員会が評価、勧告した場合、臨床研修を中断する場合がある。

1.研修医が臨床医としての適性を欠き、当院の指導・教育によっても、なお改善が不可能な場合
2.妊娠、出産、育児、傷病等の理由により臨床研修を長期にわたり休止又は中止する場合
3.その他正当な理由がある場合

2027 年度採用東京医科大学病院臨床研修医募集要項

1.　プログラム名称並びに募集定員

プログラム名称	定員数	備考
東京医科大学病院卒後臨床研修プログラム	30 名	
東京医科大学病院卒後臨床研修(小児科・産婦人科・周産期)プログラム	4 名	
東京医科大学病院卒後臨床研修広域連携型プログラム	3 名	

2. 出願資格

原則として第 121 回医師国家試験を受験する者、あるいは医師国家試験に合格し新たに臨床研修を行う者

3. 選考方法

東京医科大学病院、茨城医療センター、八王子医療センターの採用試験を合同で実施します。

マッチング順位の基準は、各施設で異なります。

1)試験日：①2026 年 8 月 8 日（土）午前：筆記試験、小論文　午後：面接

②2026 年 8 月 18 日（月）午前：筆記試験、小論文　午後：面接

但し、②は、所属大学の卒業に関わる行事や、他院の採用試験日と重複しているため 8 月 8 日（土）に受験できない場合のみ、選択可。

2)試験場所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1 東京医科大学病院（①②とも同一会場）

3)試験内容：筆記試験（医学問題、一般常識）、小論文、面接※鉛筆・消しゴムを持参すること。

4)結果発表：医師臨床研修マッチング協議会の最終結果発表による。発表日 2026 年 10 月 22 日（木）

4. 出願について

1)出願期間：2026 年 6 月 29 日（月）～2026 年 7 月 17 日（金）17 時必着

※受験票は締め切り後、第 1 希望の施設から電子メールにて送付いたします。

2)出願方法：下記の出願書類を、郵送（書留又はレターパック）若しくは持参してください。

併せて、下記 URL にアクセスし、受験者情報の入力を出願期間中に行ってください。

いずれも出願期間内に完了しないと出願資格はありません。

当院送付先：〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1

東京医科大学病院　卒後臨床研修センター事務局

※茨城医療センター・八王子医療センターを第一希望とする方は、各施設へ郵送（書留）　若しくは，各施設の卒後臨床研修センター事務局に持参してください。

受験者情報の入力先：https://forms.gle/ju9qmay5PzCbVdAe6

3)出願書類 a. 臨床研修医願書（当院指定。受験日の願書をダウンロードしてご記入下さい）

b. CBT 個人別成績表（写し）

c. 成績証明書（卒業見込みの者は 5 年次までのもの）

d. 卒業（見込）証明書

e. 推薦状 1 通 （当院指定の書式を用いて作成すること）

推薦状の宛先は、第 1 希望の施設長宛にて作成してください。

推薦状作成者は、学（部）長や担当教諭（担任）、クラブ顧問等が挙げられます

f. 受験理由証明書（書式は自由） ※f は、②試験日（8/10 月）受験を希望する方のみ提出

8 月 8 日（土）の臨床研修医採用試験を受験できない理由となる、所属大学のカリキュラム表や、他施設の採用試験日が分かる書面等をご用意ください。

※東京医科大学出身者は c～e(成績証明書、卒業（見込）証明書、推薦状)は不要です。

※提出する全ての書類が審査の対象となります。

5. 待遇・その他

1)給与：月額約 24 万円（夜勤手当含む／夜勤の振替休暇あり）

広域連携プログラムの特定期間中、院外医療機関で臨床研修を行う場合、研修先の待遇を適用する。

2)身分：常勤（臨床研修医）

3)宿舎：有

4)社会保険、労災保険、雇用保険：加入

5)健康診断：年 2 回

6. 備考

研修医が臨床研修を継続することが困難であると研修管理委員会が評価、勧告した場合、臨床研修を中断する場合がある。

1.研修医が臨床医としての適性を欠き、当院の指導・教育によっても、なお改善が不可能な場合

2.妊娠、出産、育児、傷病等の理由により臨床研修を長期にわたり休止又は中止する場合

3.その他正当な理由がある場合

7. お問い合わせ

東京医科大学病院教育部卒後臨床研修センター

電話：03-5339-3798（直通）平日 9：00～17：00、第 1･3･5 土曜日の 9：00～13：00

別表

東京医科大学病院の協力型臨床研修病院・臨床研修協力施設（一覧）

区分	施設名	所在地	選択	地域	小児	産婦	精神
協力型臨床研修病院	東京医科大学茨城医療センター	茨城県稲敷郡阿見町	○※				
	東京医科大学八王子医療センター	東京都八王子市	○※				
	厚生中央病院	東京都目黒区	○※		○	○	
	立川綜合病院	新潟県長岡市	○※				
	東京蒲田医療センター	東京都大田区	○※				
	村上総合病院	新潟県村上市	○※	○※			
	筑波記念病院	茨城県つくば市	○※				
	かしま病院	福島県いわき市		○			
	柏崎厚生病院	新潟県柏崎市	○				○
	中野共立病院	東京都中野区		○※			
	東京北医療センター	東京都北区	○				
臨床研修協力施設	大島医療センター	東京都大島町		○			
	ニセコ羊蹄広域倶知安厚生病院	北海道虻田郡倶知安町		○			
	牛込台さこむら内科	東京都新宿区		○			
	たむらクリニック	東京都杉並区		○			
	目黒ゆうあいクリニック	東京都目黒区		○			
	悠遊健康村病院	新潟県長岡市	○				
	クリニックあおと	東京都葛飾区		○			
	千代田病院	宮崎県日向市		○			
	川湯の森病院	北海道川上郡弟子屈町		○			
	藤田医院	東京都板橋区		○			
	河北ﾌｧﾐﾘｰｸﾘﾆｯｸ南阿佐ヶ谷	東京都杉並区		○			
	丸瀬布ひらやま医院	北海道紋別郡遠軽町		○			
	戸田中央産院	埼玉県東松山市	○			○	
	国立成育医療研究センター	東京都世田谷区	▲				
	永田医院	東京都江東区		○			
	新宿保健所	東京都新宿区	○				
	岡田医院	東京都練馬区		○			
	井上外科内科	東京都世田谷区		○			
	木村クリニック	東京都北区		○			
	小原病院	東京都中野区		○			
	広域紋別病院	北海道紋別市落石町		○			
	富良野協会病院	北海道富良野市		○			
	みやびハート＆ケアクリニック	東京都中野区		○			

※のついた医療機関は、研修希望する診療科を申し込むことが可能(事務局にて調整)。▲小児産科周産期プログラムのみ地域医療研修を行う協力型臨床研修病院・臨床研修協力施設は、いずれも選択枠としても研修を行うことが可能です。

MEMO

東京医科大学病院への交通アクセス

作成 2026 年 6 月東京医科大学病院卒後臨床研修センター